



を接種される方へ

ご存じですか？ 肺炎球菌感染症



ご存じですか？ 肺炎球菌による感染症

実は多い、肺炎球菌による肺炎

肺炎球菌は日常でかかる肺炎※の原因のうち
第1位の細菌です。

※市中肺炎のことを指します。

日本呼吸器学会 成人肺炎診療ガイドライン2024, P29.

■肺炎球菌による感染症は、
日常でかかる肺炎だけではありません。

髄膜炎、菌血症を伴う肺炎、敗血症などの
侵襲性肺炎球菌感染症も肺炎球菌感染症です¹⁾。

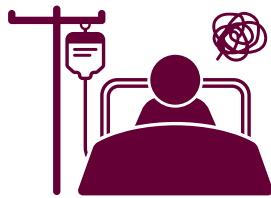
侵襲性肺炎球菌感染症になると…²⁾

侵襲性肺炎球菌感染症患者さんのうち

22.1%
死亡

8.7%
後遺症が残る

入院後
死亡が確認された患者では
54.3%が
入院から
2日以内に死亡



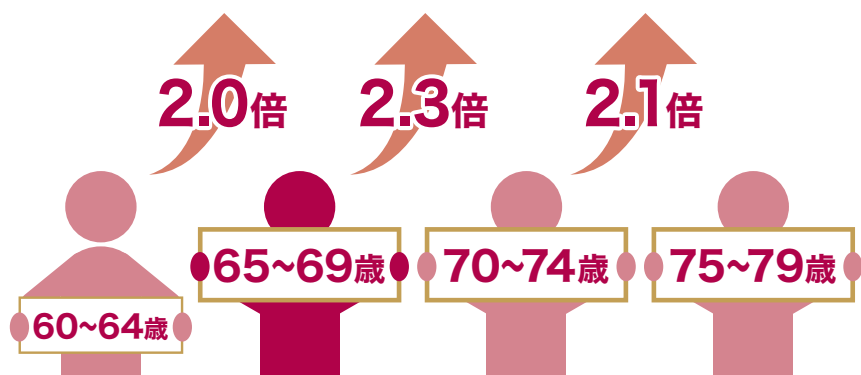
1)IASR. 2023; 44(1): 1-2.

2)厚生労働科学研究費補助金 新型インフルエンザ等新興・再興感染症研究事業
「重症型のレンサ球菌・肺炎球菌感染症に対するサーベイランスの構築と病因解析,その診断・治療に関する研究」
http://strep.umin.jp/pneumococcus/case_study.html (2024/7/24アクセス)

肺炎は年齢が上がると死亡のリスクが高まります。

- 肺炎による死亡率は
65歳～69歳は60～64歳の**2.0倍**、
70～74歳は65～69歳の**2.3倍**になります。

肺炎死亡率の加齢による増加



厚生労働省、人口動態統計(確定数)2022年より作成

肺炎球菌ワクチンは不活化ワクチンのため、
新型コロナウイルスワクチンやインフルエンザワクチンとの
接種間隔に制限はありません。

また、医師が特に必要と認めた場合は、同時接種が可能です。



厚生労働省、新型コロナウイルスワクチンQ&A。
https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/vaccine_qa.html (2024/8/8アクセス)

厚生労働省、ワクチンの接種間隔の規定変更に関するお知らせ
https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/kenkou/kekkaku-kansenshou03/rota_index_00003.html (2024/8/8アクセス)

肺炎球菌感染症は、予防する方法があります。

予 防 接 種



毎 日 の 感 染 対 策



定期接種で接種可能な場合があります。

対象者

65歳の方が対象です。

※60歳以上65歳未満の方で、心臓、腎臓、呼吸器の機能に自己の身の日常生活活動が極度に制限される程度の障害やヒト免疫不全ウイルスによる免疫の機能に日常生活がほとんど不可能な程度の障害がある方も対象となります。

66歳の誕生日の前日までが定期接種の対象です。

公費助成の有無やその内容は、お住まいの市区町村によって異なる場合があります。

これまでに定期接種の対象となる成人用肺炎球菌ワクチンを1回以上接種された方は定期接種の対象外です。

※予防接種は、すべての肺炎を防ぐものではありません。

● 肺炎予防について、くわしく知りたい方はこちら ●

肺炎予防.jp



肺炎予防について詳しくはこちら▶

Webサイト



予防については
65歳を過ぎたご先生に相談を!



動画

